

# 新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

## 第五話

### 「明治44年9月の行啓」(要約文)

行啓という言葉は耳慣れないもので、辞典によると「太皇太后、皇太后、皇后、皇太子、皇太妃、皇太孫などのお出まし」とあります。明治44年の行啓は、大正天皇が皇太子殿下として来道したもので、この行啓の記録は『行幸啓誌』、『奉迎記事』などにまとめられています。

明治44年9月に、新冠御料牧場の視察のため新冠の行啓をされています。その際、節婦御野立所(現在の大神部にある御野立所公園の位置)で休憩しました。

御野立所(殿下が休憩される屋根小屋)は一時的なもので、行啓の後に取り払うものを採用しています。建坪14坪の堀建吹抜造、屋根は板葺きとあります。

ご休憩の間、殿下は御料牧場の主馬頭である藤波子爵よりこの付近の説明を受けられ、崖近くまで歩いて、望遠鏡にてトド岩をはじめとする景色をご覧になりました。休憩の際、殿下のお世話をされるお給仕として、日新小学校(現在の新冠小学校)の児童4人が選ばれています。この日のために、礼儀作法を1カ月前から、キリスト教の伝道師である鈴木雅彦氏から教えを受けたといわれています。

視察された御料牧場では、競馬や荒馬捕りを台覧しています。宿泊は明治42年に建てら

れた新冠御旅館(現在の竜雲閣)でされました。

明治44年のこの行啓は、道民の熱望によって実現したものであり、新冠郡においても大変な準備をされたと思われます。なぜ新冠郡に來られたかは言うまでもなく、御料牧場の視察が目的でした。しかし、敗戦を迎え、牧場も解放されその面影は竜雲閣のみとなってしまいました。

かつて、御野立所の小屋が建っていた場所自体は、国道の開通によって削られてなくなっ  
てしまいました。残された場所は現在、大神部御野立所公園として整備され、行啓記念碑を建立し、碑文にその歴史を刻んでいます。



大神部御野立所公園にある行啓記念碑

## 備えていますか？非常持出品！

9月1日は「防災の日」!

日頃からの備えが肝心です。

消防署新冠支署

### 火災・救急出動状況 ( ) かつこ内は前年同期

区分	火災件数	救急件数
8月	0件(0件)	27件(21件)
30年1~8月	0件(3件)	198件(173件)

  

### 交通事故発生状況 ( ) かつこ内は前年同期

区分	発生件数	死者	傷者
8月	0件(0件)	0人(0人)	0人(0人)
30年1~8月	4件(2件)	0人(0人)	5人(3人)

## 人の うごき

(平成30年8月末現在)

人口 5,581人 (前月比 -12人)  
 男 2,740人 (前月比 +1人)  
 女 2,841人 (前月比 -13人)  
 世帯 2,759世帯 (前月比 -4世帯)